

脱炭素社会の実現に向けた「新たな削減目標」の設定と施策展開(素案) 概要

I 「新たな削減目標」設定の背景

1 地球環境の異変

- ・世界の平均気温が2年連続で過去最高更新(2014年、2015年)
- ・2016年上半期の世界の平均気温が過去最高を更新
- ・全大気月平均CO2濃度が400ppm超過

2 国際社会の動向

- ・「COP21」で「今世紀後半には温室効果ガスの排出を実質ゼロ」とする新たな国際枠組の形成

3 日本国内の動向

- ・温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で▲26.0%とした「地球温暖化対策計画」の策定

脱炭素社会の実現に向け、
徳島県の取組を加速させるため、
新たな条例を制定

II 「新たな削減目標」

国の削減目標(2030年度)

2013年度比 ▲26.0%

排出抑制 約▲23.4%

吸収量 約▲2.6%

徳島県の削減努力
を乗せ

全国トップの
削減率!

徳島県の削減目標(2030年度)

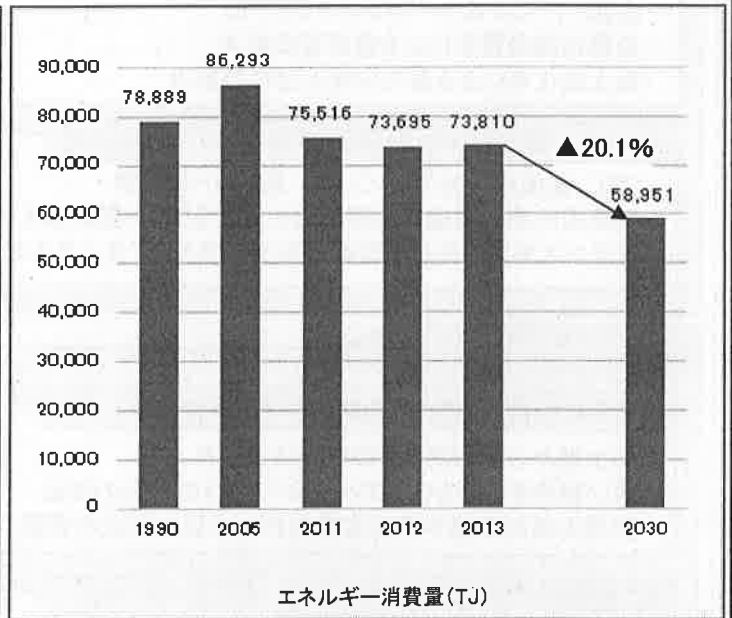
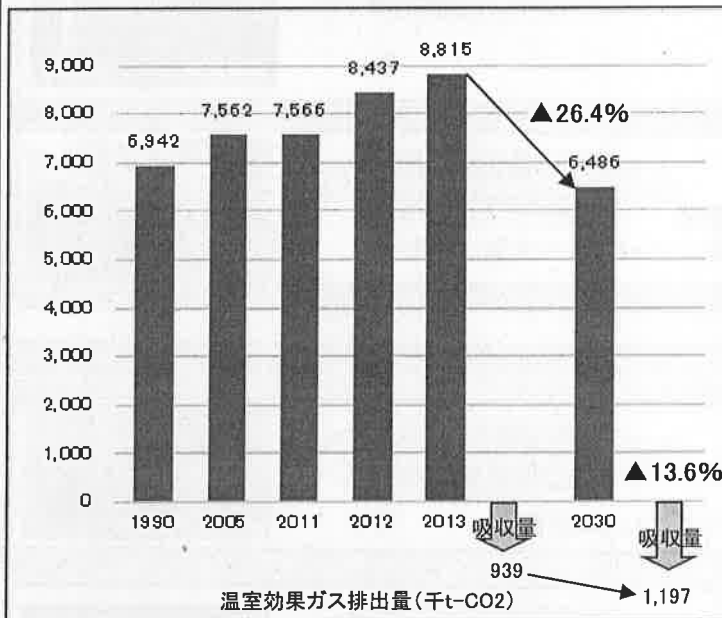
2013年度比 ▲40.0%

排出抑制 約▲26.4%

吸収量 約▲13.6%

エネルギー消費量 ▲20.1%

III 現状及び削減目標



IV 将来推計及び削減見込

単位: 千t-CO2

区分	2013年度 排出量 (基準年)	2030年度				
		現状すう勢 ケース排出量	対策等による 削減見込量	対策後の 排出量	2013年度に 対する削減率	
二酸化炭素	産業部門	2,899	3,180	▲533 ~ ▲538	2,642 ~ 2,647	▲8.7% ~ ▲8.8%
	民生部門(家庭系)	1,580	1,461	▲352 ~ ▲471	990 ~ 1,109	▲29.8% ~ ▲37.3%
	民生部門(業務系)	1,849	1,775	▲668 ~ ▲742	1,033 ~ 1,107	▲40.1% ~ ▲44.2%
	運輸部門	1,362	1,256	▲260	996	▲26.9%
	その他	535	371	▲16 ~ ▲54	317 ~ 356	▲33.6% ~ ▲40.7%
二酸化炭素 計	8,226	8,044	▲1,829 ~ ▲2,065	5,979 ~ 6,215	▲24.4% ~ ▲27.3%	
メタン・一酸化二窒素・代替フロン等4ガス	589	729	▲366	363	▲38.5%	
温室効果ガス 計	8,815	8,772	▲2,195 ~ ▲2,431	6,342 ~ 6,577	▲25.4% ~ ▲28.1%	

※四捨五入の関係で合計等が合わない場合がある。

V 削減目標達成のための対策

「TOKUSHIMA」の挑戦 × 支援 ◆ 県民総活躍 ◆ 地域資源の最大限活用 ◆ 政策の総動員

未来を守る！緩和策

1 県民生活に係る対策

- ・県民の省エネ活動に対してインセンティブの付与
- ・ZEH、パッシブデザイン、地中熱等の導入促進
- ・LED照明への積極的な切替
- ・ライフスタイル転換への県民運動の展開（「とくしまエコ大使」、「とくしまエコパートナー」の任命）
- ・エシカル消費など新たな価値観の共有による「意識の変革」
- ・節電取引市場への県民の参加促進

脱炭素型ライフ(ビジネス)
スタイルへ転換

四国4県啓発ポスター！



2 再生可能エネルギー等に係る対策

- ・水素グリッド構想の実現（水素ステーション及びFCVの普及促進）
- ・水素エネルギーの産業利用の加速化（FCFLの導入支援）
- ・未利用エネルギーの活用支援
- ・自然エネルギーの導入加速
（「自然エネルギーによる電力自給率」を2030年度に37%）
（小水力発電所導入地域の拡大、漁業協調型洋上風力発電の実証実験）

水素・再生可能エネルギー
の最大限導入



3 吸収源に係る対策

- ・企業活動や県民生活へのカーボンオフセットの浸透
- ・会議・イベントのカーボンオフセット化
- ・森里川海の保全による吸収源の拡大
- ・屋上緑化等による新たな緑化空間の創出

本県の豊かな
自然生態系の積極活用



4 フロン類・廃棄物の排出の抑制等に係る対策

- ・フロン類使用製品のノンフロン・低GWP化促進
- ・業務用冷凍空調機器の使用時におけるフロン類の漏えい防止
- ・食品ロス削減に向けた取組の加速（「美味しく食べきる運動」、フードバンク活動への支援）

フロン類の排出抑制
3Rの取組拡大



未来を創る！協働策

1 環境教育・環境学習の推進

- ・幼少期から高齢期までの環境教育の体系化
- ・若い世代を中心としたフィールドワークの機会の創出
- ・現場主義の取組や県民意見集約に必要な拠点の整備（「エコカフェ」の設置）

未来を担う世代へ、
新たな環境学習の展開



2 先導的な取組の支援等

- ・クラウドファンディングやSNSの意欲的な活用
- ・環境研究所（とくしまエコラボ）の開設
- ・「地球環境を守る日」の普及
- ・県民、事業者の削減努力を「見える化」し、表彰（気候変動アワードの創設）、事例発表の機会創出

地域の知恵を活かした
イノベーションの創出、発信



VI 目指すべき姿

県民総ぐるみで気候変動対策に取り組み、「自然の恵みを循環させるスマートな社会」を実現します。

VII 計画の推進

進化する削減目標

- ・最新の知見や科学技術の進展により必要に応じて新たな対策を追加
- ・5年毎に削減目標の見直しを実施

揺るぎない計画の推進

- ・庁内の環境対策推進本部において毎年、対策の進捗管理を実施
- ・環境審議会にて点検・評価を受け公表

成果モデル
を発信！

【参考1】削減見込の具体策

区分		主な項目
二酸化炭素	産業部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設業・鉱工業での省エネルギー性能の高い設備・機器等の導入促進 (燃費性能の優れた油圧ショベル、ホイールローダー、ブルドーザー、FCFLの普及促進) ・ 製造業での省エネルギー性能の高い設備・機器等の導入促進 (高効率の空調、産業用ヒートポンプ、産業用モーター、高性能ボイラー等の導入促進)
	民生部門（家庭系）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭におけるエコライフの推進 (冷暖房の温度設定、不要な照明の消灯、不要時のテレビ消灯、洗濯のまとめ洗い等の推進) ・ 省エネルギー家電の普及促進 (省エネ性能の高い電気冷蔵庫、エアコン、電気温水器、テレビ等への買替促進) ・ 住宅の省エネルギー対策の促進 ・ LED照明の積極的な導入 ・ 省エネルギー型給湯機器等の導入促進 (ヒートポンプ給湯器、潜熱回収型給湯器、家庭用燃料電池の導入促進) ・ 太陽光発電の設備導入促進 ・ HEMS・スマートメータを利用したエネルギー管理の実施
	民生部門（業務系）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所における省エネルギー行動の推進 (冷暖房の温度設定、不要な照明の消灯、不要時のOA機器の電源オフ等の推進) ・ 事業所における省エネルギー設備の普及促進 (省エネ性能の高いOA機器類、エアコン等への買替促進) ・ 建築物の省エネルギー対策の促進 ・ LED照明の積極的な導入 ・ 太陽光発電の設備導入促進 ・ BEMSの活用、省エネ診断等によるエネルギー管理の実施
	運輸部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネルギー行動（エコドライブ、アイドリングストップ）の実践 ・ 次世代自動車の普及、燃費改善 (ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車等の普及促進)

【参考2】対策との相関関係

